

(令和4年度第2次補正) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (市町村分) 個票

自治体名 桑名市 (都道府県: 三重県)

本事業の担当部局名 子ども未来局子ども未来課

事業メニュー	結婚_妊娠_出産_子育てに温かい社会づくり_機運醸成事業				
区分	一般メニュー				
関連事業メニュー	3.1.3 妊娠・出産、子育て支援情報の「見える化」支援				
個別事業名	AIチャットボットによる子育て応援事業	新規/継続 (一般財源での実施も含む)	新規		
実施期間	交付決定日 ~	令和6年3月31日	事業開始年度	年度	
対象経費支出予定額 ※(注)1	9,268,600 円				
自治体における少子化対策の全体像及びその 中での本個別事業の位置付け ※(注)2	(地域における実情と課題及び本個別事業の位置付け)				
	<p><地域における実情と課題></p> <p>桑名市では、市総合計画で「子どもを3人育てられるまち」をビジョンとして掲げ、子ども・子育て支援に取り組む体制づくりに努めてきた。しかし、市の総人口は、平成27年の14万3千人をピークに減少し、令和4年2月に14万人を下回る事態となったことに伴い、同年8月に、「桑名市人口減少対策パッケージ“14万”リバウンドプラン」を発表し、“流入促進”、“定着環境整備”、“流出抑制”の3つのフェーズからなる緊急対策を講じていく方針を打ち出した。</p> <p>そのような中、子ども・子育て支援に取り組む体制の整備を実施してきたが、令和3年度に実施した市民満足度調査では、「桑名市が子育てがしやすいと思わない理由」として「子育てに関する情報が少ない」が23.4%となっており、子育て世代が安心して子育てができるよう分かりやすく情報を提供することが課題となっている。</p>				
	<p><本個別事業の位置付け></p> <p>本事業は、市総合計画のビジョンの1つである「子どもを3人育てられるまち」、「桑名市人口減少対策パッケージ“14万”リバウンドプラン」の定着環境整備に係る事業として位置付けている。子ども・子育てにおける情報は多岐に渡っており、さまざまな相談が寄せられている実情がある中で、育児や仕事で忙しく日中に問合せできない方など、子育て世代が安心して子育てができるような環境整備を図る必要がある。</p>				
	(本個別事業における現状と課題)				
個別事業の内容 ※(注)3	(課題への対応)				
	桑名市における子ども・子育て支援における情報や疑問について24時間365日対応できるAIチャットボットを導入し、子育て世代が安心して子育てができるよう分かりやすく情報を提供する環境づくりを行うことで、子育てに温かい社会づくりと子育て世代の定住促進を図る。				
	番号	項目	内容	ステップアップ	KPI設定
	1	AIチャットボットの運用	子育て世代には、育児や仕事で忙しく日中に問合せできない方も多い。また、子育てについては、情報も多岐に渡っており、さまざまな相談が寄せられていることから、AIチャットボットを導入し、24時間365日、子育ての情報を速やかに検索、取得できるようにすることで、子育て支援の更なる充実と情報発信に努め、子育てに温かい社会づくりと子育て世代の定住促進を図る。		○
2					
3					

【次年度以降に向けた事業の方向性】

回答パターンの改善を繰り返すことで利便性の向上に努めるとともに、子育て家庭のアンケート結果をデータ化し、施策に反映させる。

【事業内容を検討する上で参考とした既存事業】

富山県南砺市「子育て相談チャットボット」

少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※(注)4	KPI項目	単位	目標値	現状値
		桑名市総人口	人	140,000
参考指標 ※(注)5	項目	単位	直近の実績	
	合計特殊出生率		1.32 (令和2年)	
	婚姻件数	件	597 (令和2年)	
	婚姻率		4.3 (令和2年)	
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※(注)6	KPI項目	単位	目標値	現状値
	(アウトプット)			
	AIチャットボット利用者数(R5.8~R6.3末)	人	1,200	
	AIチャットボットへの相談件数(R5.8~R6.3末)	件	7,300	
	(アウトカム)			
	AIチャットボットを利用したユーザーの質問解決による満足度	%	80	
	AIチャットボットを利用したことにより、子育てに関する情報が取得しやすくなり、子育てに役立ったと思う割合	%	80	
他自治体との連携・役割分担の考え方及び具体的方法 ※(注)7				
民間事業者との連携・役割分担の考え方及び具体的方法 ※(注)8				